



「Branch Haus」窓からは神戸の海が見える 36 帖の LDK。二つの印象的な切妻の壁がゲストを出迎える。リビング側にはウォルナットの突板を方向を変えながら、象嵌細工のように貼られたものを。キッチン側には、ステンレスを酸で処理した無垢の板を貼っている。様々な条件で経年変化を楽しめる素材。写真／福澤昭嘉



「アウトドアリビングの家」開口部を最低限にしてプリミティブなカタチに。植栽はシルバーリーフなどグレー系の下草を中心にあしらい、絵本に出てきそうな家の世界観を目指した。写真／福澤昭嘉



「Liv.diverse」屋根のかたちや素材、床の高さなどで、ゆるやかに領域を区切った 24 帖の空間。写真／福澤昭嘉



お問い合わせ
●078-351-6128
●住／兵庫県神戸市中央区山本通5-13-9
●営／9:00～19:00
●休／日曜日
●http://www.sekidesign.com



建築家 石恵明氏
2005 年、一級建築士事務所 sekidesign 設立。2012 年、一級建築士事務所 株式会社 sekidesign に組織変更。大阪市ハウジングデザイン賞 神戸市都市デザイン賞すまうら文庫。COOL JAPAN 施工例写真 with 言葉の力 コンテスト「金賞／山本通の家銀賞／それぞれの庭の家」グッドデザイン賞クレバスハウス他数々の賞を受賞。メディアにて多数取り上げられる



「Branch Haus」インテリアのテーマはラスティック x ラグジュアリー。ロマネスク教会をイメージした “へ” の字型の切妻天井が印象的な LDK。ファンタスティックオーダーキッチンランブリ 2018 入賞作品。写真／福澤昭嘉



坂を登るとシンボルツリーと枝分かれた白い家が丘の上に現れる。写真／福澤昭嘉

セキデザイン 株式会社 *seki.design*

あなたとご家族にとって一番心地よい
住まいのカタチを共に創りあげる

神戸市を拠点に住宅やクリニックの新築・リフォーム、リノベーションをはじめ、あらゆる建築物の企画から設計、監理まで幅広く請け負う（seki.design）。同社が住まいの設計において、とくに力をいれているのは、クライアントとの対話。その対話のなかから設計のヒントを見つけ出し、それを機能と結びつけながらカタチにしていく。他愛のないエピソードでも、そこから得られたヒントが設計にいかされ、素敵な住まいが生まれることもある。そしてもうひとつ、設計・デザインに「優しさ」を込めることにも重きを置く。

思いやり、愛情、安らぎ、真夏の木陰に吹き抜ける風のような、あるいは春の陽だまりのような心地良さ。言葉にならない思いをくみ取り、それを実際のカタチにする。なぜなら、その「カタチ」がこれからあなたとご家族の未来を育んでいくのだから。

また、家を建てるようになったとき、「家が欲しいけれど、何からはじめたらよいのか分からない」「そんな方多いのでは。同社では、WEBサイトのコンタクト・フォームより、住まい・建築に関するご相談を無料にて承っている。いきなり面識のない建築家と顔を合わせるのはいきなりと……。とお考えの方は、まずこちらからお気軽にご相談を。「何を相談したらいいのかわからない」といった漠然とした質問も多いのだという。数回メールでのやり取りをした後に、実際に面談する方が殆どとのことだが、もちろんそれに限らず、納得のゆくまでメールにて相談に乗ってくれる。建築家の仕事とは、お客様と向き合い、思っていることを引き出すところからスタートする。不安や疑問を抱えて相談に来る方も、必ず解決してお帰りのいただけるよう最善を尽くす。

（seki.design）はあなたとご家族が、いちばん心地良いと感じられる「住まいのカタチ」を提案する。